



2023年11月30日

各位

会社名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮地 広志
(コード番号 6573 グロース)
問合せ先 取締役 CFO 川上 元樹
(TEL 03-6435-7130 (代表))

(開示事項の経過) ANA NEO 株式会社の株式取得に関する

株式譲渡契約締結のお知らせ

当社は、2023年11月20日付適時開示「ANA NEO 株式会社の株式取得に向けた基本合意書の締結に関するお知らせ」にて、ANA NEO 株式会社（以下「ANA NEO 社」といいます）の株式を取得する予定であることを公表しておりましたが、本日開催の取締役会において、CX 株式会社保有する ANA NEO 社の普通株式を取得する株式譲渡契約締結について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

ANA NEO 社は、ANA ホールディングス株式会社のグループ会社であり、メタバース事業（仮想空間の開発）を行っております。現在、メタバースは主にエンターテインメントの分野における技術であると捉えられがちですが、ANA NEO 社では、世界中の素晴らしい旅先や文化を VR 技術によって再現することで、後世に伝承しながら、安全、かつ快適に楽しんで頂けるメタバース旅行サービスを展開しており、将来的には仮想空間の中での物の販売や広告・宣伝なども行われるようになると考えられております。そして、メタバースは、社会でより一層認知が進み、ビジネスの分野でも活用事例が拡大し、今後さらに重要性が増してくると期待されております。

当社も、メタバースの広がりの中で、商品や地域の認知度を向上させるためのインフルエンサー施策や、企業やブランドのファンの育成・活性化を支援するファンマーケティングを実施するなど、メタバースにおけるマーケティング面で当社のサービスを提供することを計画しております。

今般の株式取得によって、メタバース事業における足がかりを確保し、将来的なメタバースにおけるファンマーケティング事業等、当社サービスの実施によるシナジーの創出を見込んでおります。このような効果を総合的に判断し、ANA NEO 社の株式を取得することといたしました。

2. 株式を取得する会社の概要

(1)	名 称	ANA NEO 株式会社
(2)	所 在 地	東京都中央区日本橋二丁目 14 番 1 号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 CEO 富田 光欧
(4)	事 業 内 容	ゲーミングテクノロジーを活用したバーチャル空間のプラットフォーム事業の企画・運営・管理業務
(5)	資 本 金	87,350 千円
(6)	設 立 年 月 日	2020 年 8 月 7 日
(7)	大株主及び持株比率	ANA ホールディングス株式会社 (55.9%) JP GAMES 株式会社 (37.4%) CX 株式会社 (6.7%)
(8)	当事会社間の関係	
	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
(9)	最近 3 年の経営成績 及 び 財 務 状 況	該当事項はありません。
		相手先の意向により、非開示とさせていただきます。

3. 株式取得の相手先の概要

(1)	名 称	CX 株式会社
(2)	所 在 地	東京都江東区辰巳 3-9-27 OCS 東京スカイゲート 7 階
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 CEO 古居弘道
(4)	事 業 内 容	投資事業及びグループ事業会社の経営管理全般
(5)	資 本 金	410,000 千円
(6)	設 立 年 月 日	2020 年 2 月 14 日
(7)	大株主及び持株比率	古居弘道 (40.14%) 他、個人株主 3 名
(8)	当事会社間の関係	
	資 本 関 係	当社と設立予定の合弁会社の株主となる株式会社 ACD と、CX 社とは代表取締役が共通である関連会社であります。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関 連 当 事 者 へ の	該当事項はありません。

	該 当 状 況	
(9)	最近3年の経営成績 及び財務状況	相手先の意向により、非開示とさせていただきます。

4. 取得株式数及び異動前後の所有株式数の状況

異動前の所有株式数	0株（議決権保有割合：0%）
取得株式数	普通株式：50株（議決権の数：50個）
取得価格	50,000千円
異動後の所有株式数	普通株式：50株（議決権保有割合：1.11%）

5. 日程

取締役会決議日	2023年11月30日
株式譲渡契約締結日	2023年12月1日（予定）
株式譲渡実行日	2023年12月1日（予定）

6. 取得のための資金について

当社の手元資金にて行います。これは、当社が第10回新株予約権の発行及び行使によって調達した「新規事業投資資金」であります。

なお、将来的なメタバースにおけるファンマーケティング事業等当社サービスの実施に向けて、バーチャル空間と現実世界が融合する中でサービスを提供するための技術開発、サービス開発が不可欠となります。現在のところ開発資金の規模は未定ですが、当社手元資金から確保する予定です。

7. 今後の見通し

本件が当社の連結業績に与える影響については軽微であると考えておりますが、開示すべき事項が発生した場合は、速やかに開示いたします。

以上